

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク第6期事業報告書
2016年4月1日から2017年3月31日まで

1 事業の成果

第6期は、管理部門も合わせ計12の事業を実施。事業は、その他も含め4本の柱で構成されている。
一つ目の柱である「女性の活躍推進」では、第4期Eyes for Future byランコムを開講、24名の女性が起業家育成コースを修了した。また今期より過去の受講生が自身の希望する科目を選択受講できるフォローアップコースを併設、10名の修了生が再び当スクールで学びを深めた。期間中に6名が起業、10名が事業拡大を遂げた。当年度は日本財団の助成により、子育て中の母親のスキルアップと彼女らのコミュニティ形成を目指した「やっぺす！ママのわすクール」を実施、12名の受講生がパソコン基礎講座やコミュニケーション講座、食育講座、子育て講座（一部は公開講座）などに参加した。受講生は2つのグループに分かれ、石巻地域の子育て環境改善に向けた提言を整理、それをもとに石巻市長や市子育て支援課との対話の機会を得るなど、達成感とかがえのない仲間を手にしなが、ひとりひとりの女性としても成長を遂げた。なお、スクール終了後は、子育て中の母親を対象とした講座運営のマニュアルを事業報告書として発行、地域で子育て支援に携わる関係各所に配布している。
サムスン電子からの寄付をもとに実施する入学お祝い金の配布事業は、最終年度として3回目を実施。申請条件を緩和し、広報にも力を入れた結果、昨年の377に対し2倍以上、75の世帯へお祝い金は送金することができた。カナダ式親育てプログラムNP(Nobody's Perfect)は、「しんきんの絆」復興応援プロジェクトの助成により当年度も合計5期を実施、43名の母親たちが子育てに関する悩みと向き合った。

二つ目の柱「被災者のコミュニティ形成支援」では、当年度も引き続き「やっぺす隊がやってくる！」と題して、年間95回のサロン活動・イベントを仮設住宅集会所にて開催。昨年度よりスタートした復興住宅での活動や所謂在宅被災者を対象としたイベントを含め、1,588名の参加を得ている。石巻の復興住宅初のサークル活動の立ち上げを支援、復興住宅に住む高校生たちのボランティアサークルの活動もサポートした。

三つ目の柱である「復興の担い手育成」では、「石巻に恋しちゃった(以下石恋)」や「コーワーキングスペース運営」を継続事業として実施中である。「石恋」は第9回(74名が達人として体験プログラムを提供)と、海の日の恒例である「サン・ファン石恋まつり」を実施、合わせて参加者は2462名を数えた。他方、4年間続いた宮城県復興応援隊設置業務による委託が当年度をもって終了、今後の運営資金を賄うため、より自立的な継続開催に向け、足元を固めているところである。コーワーキングスペースでは、3回の経営セミナー(参加者39名)と6回の起業家交流サロン(参加者44名)を開催。交流サロンのゲストには、これまでと違い、震災後に起業した地元の実業家以外にも、地元で長く活躍する経営者らをもゲストに迎え、地域経済の活性化に向け、その交流を図った。その他、レゴリアスプレイ体験会やHP制作講座などのオリジナルセミナーも開催、その仕様が第7期事業に引き継いでいる。

その他、復興コーディネイト事業では、昨年度より多い約750名近い社会人・学生らのボランティア活動を受入れ、仮設住宅での清掃活動を調整するほかに、地域や団体の支援ニーズとのマッチングを図った。継続して実施する企業の中には、繰り返し参加する社員が口コミで新規参加者を誘う流れも出てきており、被災地の風化防止にも貢献できている。また、新入社員研修を石巻で実施することで、活動開始前よりも離職率が下がったという報告も受けている。

最重要課題として取組中の組織基盤の整備については、スタッフ全体が参加する定例mtgの開始や、プロジェクトマネジメントの導入の他に、日本IBM社のプロボノによる支援を得ての、課題の整理や中期計画の策定を実施。経営状況は厳しい中ではあるが、それらを活かし、第7期もより一層スタッフ一丸となり、活動を進めていく気概でいる。

なお、当事業期間が終了する3月末、2011年の活動開始から約6年の間拠点としてきた石巻駅前ビル4階より、石巻市元倉一丁目へと、主たる事務所を移転した。

2 事業に関する事項

	事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
1	Eyes for Future by ランコム	石巻市及びその周辺の市町村に住む女性に対し、講座の実施や起業家支援を行う。	通年(前期からの継続事業) (開講期間は2016年3月～10月)	石巻市内の会場	3	・石巻市及びその周辺の市町村在住の21歳以上の女性	3,950
2	子育てママ応援 コミュニカフェ運営事業	・ママスタッフによるコミュニカフェの経営 ・ママたちが講師を務める癒し系イベント「癒しデー」の実施	通年(前期からの継続事業)	Café Butterfly(石巻市)	3	・小さい子供を持つ母親 ・市内の中高校生 ・新しいチャレンジをしたい地域の女性	7,327
3	ママ・子ども支援事業	石巻地域に住む子育て中の母親や子どもに対して、孤立感を軽減するためのNP(Nobody's Perfect)講座やイベントを開催する。石巻市およびその周辺地域に住む、子どもを持つ女性を対象に、講座の実施や母親同士が交流できる時間、機会を提供する。	通年(前期からの継続事業)	石巻圏域	4	石巻圏域で子育て中の母親及び子ども	7,067
4	Amanecer	被災した女性が製作するアクセサリブランドの運営、および製作の内職コーディネイト。ECサイトと直販、イベントを通じた販売。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内 (販促地域は全国)	3	石巻市及びその周辺の市町村在住の乳幼児を持つ母親	2,873
5	おうちごと事業	手仕事(制作)を依頼したい企業と共同で、市内のママたちへ内職を提供している。	通年(前期からの継続事業)	石巻市	2	・石巻市及びその周辺の市町村在住の女性	272
6	グッズ販売事業	・無事かえるシリーズの商品監修、販促 ・石田裕之さんの「やっぺす♡石巻」(楽曲および楽譜CD)、くるりの「石巻復興節」CDの販促	通年(前期からの継続事業)	全国各地	3	物品購入・販売を通して石巻に貢献したいと考えている人。防災グッズやCDの購入者。	279
7	やっぺす隊がやってくる！ (仮設住宅を中心とした地域全体のコミュニティづくり事業)	石巻開成・南境地区の仮設住宅集会所にてサロン活動やイベントを開催する。また、仮設に残る住民からニーズや生活の実態についてヒアリングを行い、今後の支援活動に活かすとともに、仮設住宅後期の活動の備えについて検証を行う。	通年(前期からの継続事業)	石巻市開成・南境地区の仮設住宅団地集会所	2	石巻市開成・南境地区の仮設住宅団地住民約1500名	1,086
8	復興公営住宅でのコミュニティづくり事業	石巻市内数か所の復興公営住宅集会所にて、石巻市社協や他団体と連携し、住民のニーズに合ったサロン活動やイベントを開催する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内の復興公営住宅集会所や地域の会館等	2	石巻市内の復興公営住宅住民及び近隣住民	3,558

2 事業に関する事項

	事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
9	石巻に恋しちゃった♡事業	石巻・東松島・女川の地域資源の発掘・発信およびそこに暮らす個人の趣味や特技、地域の魅力を活かした体験プログラムを一定の期間に実施し、一人一人のチャレンジを応援する。	通年(準備・開催・振り返り)(開催期間は約1か月)	石巻・東松島・女川	2.5	・達人:石巻市、東松島市、女川町にお住まいか 在学、通勤している方およびご出身の方 ・参加者:全世界	12,389
10	地域起業・新事業活動拠点運営事業	宮城県内の事業者に対し、セミナー等の創業支援と交流サロン等のコミュニティ創造。醸成事業を行う。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内	1	宮城県内にて事業を営む事業者や経営者又、潜在している起業家	12,672
11	石巻復興コーディネート事業	被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	5	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど	2,224
12	管理部門および共通	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画策定 ・規定およびルールの策定 ・目標管理制度の策定(PDCA) ・サポーター制度とDBの活用 ・全体mtgの運営 ・フィロソフィの策定 ・スタッフ育成制度・人事評価制度の導入 ・理事会、総会の開催とその準備 ・監督官庁への報告 ・事業計画と事業報告の作成 ・総務・経理 ・人事(新スタッフの募集) ・メルマガ(やっぺす通信)の発行(月1回) ・ブログやFB、Twitterでの情報発信 ・「やっぺすの輪、活動報告会」 ・関東方面の支援者に向けた東京等での定期的な報告会を開催し、サポーター制度や協働を含めた活動への関わり方について意見交換を行う。 ・年次報告書(2015年度)の作成 ・各種取材、調査やアンケートへの対応 	通年	事務所	4		20,806